

平成31年3月 6日

足立区立舎人小学校
校長 富岡 尚生 様

舎人小学校開かれた学校づくり協議会
会長 横田 正実

平成30年度 学校関係者評価書

1 自己評価書全般について

- 年間を通して提示された児童・保護者等による学校評価アンケート結果、家庭学習、学習内容の定着率調査、読書量等の調査等のデータに基づき、適切な自己評価がなされている。
- 学力向上については、基礎・基本の徹底や個に応じた指導の充実を図ってきた成果が、区学力調査結果に表れ、保護者等による学校評価の結果にも反映されている。
- 体力向上については、スポーツテストの結果から課題が浮き彫りになった。「握力」「投力」のスコアが低く、工夫した指導を充実してほしい。また、「持久走」「なわとびチャレンジタイム」等の取組が全校で実施され充実している。しかし、今年度は舎人陸上競技場で持久走大会が開催されなかったことが残念であり、31年度は舎人陸上競技場で開催し、保護者や地域の方々の応援を受け、子供たちのがんばる姿を見せていただけるよう望みます。
- 保護者の学校評価アンケートを実施して、特に学習に関する項目は全て90%を超える肯定的な評価結果となっている。
- 重点的な取組事項の成果・課題について
- 「基礎的・基本的な学習内容」の定着については、4月実施の区学力調査における目標値通過率が、目標に達した。区調査の結果は、毎年向上している。
- 多層指導モデル(MIM)を導入した読みの指導の成果については、特殊音節を含む文章を読んだり書いたりする力が徐々に向上している。今後も個別指導を充実させて取り組んでほしい。
- 家庭学習習慣の定着については進んでいるが、未定着層への指導法を工夫してほしい。
- いじめ防止、対応については、アンケートの実施や学校の点検の内容・方法等に成果が見られる。今後も、生活指導上の問題や児童間のトラブルの早期発見・早期対応・早期解決を願う。
- 幼保小の交流として、「足立みどり幼稚園との交流」「聖保育園との交流」ができている。教員相互の交流研修を通して、理解を深め、幼保小の各教育現場の指導に生かしてほしい。
- 小中連携については、昨年度よりも、内容が充実し、推進されたことがわかった。次年度も推進し、さらに学力定着やさまざまな問題解決に結び付けて欲しい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 児童の学力定着のために、全教職員が努力していることが分かる。家庭学習強化週間の実施や読書活動の推進を充実させ、個人面談や保護者会等の機会を生かしてより一層の学力定着を図る働きかけを期待する。
- 引き続き、いじめの早期発見・早期対応・早期解決に努めて、安心して通わせることができる学校づくりを推進してほしい。
- 虫歯の治療及び予防については、今後も近隣の幼稚園保育園・学校・家庭が連携して、改善に取り組んでほしい。

3 その他

- 様々な作品展、スポーツ大会で賞を受賞したり、金管バンドクラブ活動や子供会活動などで地域のために活躍したりしている児童が多い。今後も、地域を担う人材として成長してくれることを期待している。
- 地域の文化や歴史を学ばせ、学校の教育活動の充実と地域コミュニティーの活性化に資する取組を協議会・学校・家庭の三者が協働して推進していきたい。